

i-SUS CHANNEL

アイサスチャンネル
vol.15

情報共有システム

information bridge

アイサスのお仕事
クライアント突撃レポート

一般社団法人 京都府建設業協会 様

建設女子の本音! Vol.5

講習会レポート

みなさんの役立つ
情報をお届け!

今こそ!!
情報共有
システム!



清水寺三重塔
(京都市東山区)



京都タワー



お世話になります!

アイサスのお仕事

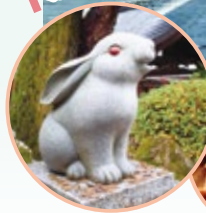
クライアント突撃レポート

アイサスのナビゲーター(案内人)がinformation bridgeをご利用頂いたお客様のもとへお伺いし、対談するコーナーです。

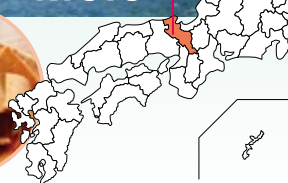
一般社団法人 京都府建設業協会 様 X 株式会社アイサス

嵐山

今回は
京都府



KYOTO



一般社団法人
京都府建設業協会
専務理事

中村 敬二様



一般社団法人
京都府建設業協会
会長

小崎 学様



Navigator

株式会社アイサス
代表取締役

百成 公鋭

今回は京都府建設業協会様にインタビューにご協力をいただきました。弊社とのコンソーシアムについて・建設業界の動向について詳しくお聞きしました。

百成 弊社とのコンソーシアムを行うことを決めた理由を教えてください。また全国に複数社ベンダーがある中、弊社を選んでいただいた理由を教えてください。

小崎様 平成24年度から当協会土木委員会を中心に「京都府・京都市情報共有実証実験業務」として3年間実証実験を行い、当協会と京都府が共同で実施したアンケートでシステムの利便性が高く評価されたため、御社のシステムを推奨することとしたものです。また、他府県協会からの推奨もあったため決定をさせていただきました。今後も建設現場における労働時間の削減につながるため、コンソーシアムを継続していきたいと考えています。

百成 講習会内容や頻度について協会様の評判や反応はどうですか？また弊社の営業・サポートの対応はいかがですか？

中村様 講習会は各支部で年間10回程度開催いただくとともに、開催頻度やWEB講習会への参加など柔軟に対応いただいております。土木CPDS、建築CPDの単位も取得できるので、会員様からも好評いただいております。営業やサポートに関しても、こちらの要望にきちんと対応していただいております。

百成 ありがとうございます。今後ともより一層精進してまいります。

百成 建設業界では今後、若年層の獲得は必須と考えられています。若年層担い手確保のためにどのような取組をされていますか？

中村様 府内の土木・建築系学科の高校生を対象にインターンシップや現場見学を実施しています。また、普段はベンチとして利用し、防災時にはかまどとして使える「かまどベンチ」を青年部会や小・中・高等学校と共同で設置をしています。小学校では、カラフルなタイルで素敵に装飾してもらうなど地域貢献をするとともに交流も

生まれました。今後も工業系高校と連携した事業を展開していきたいと考えています。

百成 建設産業への女性参入推進活動についてどう考えますか？

小崎様 近年女性にとって働きやすい環境が整いつつあります。一層の環境整備と広報活動が必要だと認識しています。その上で女性だからといって特別扱いをしてはいけなないと考えます。実際に社員からは、「女性だからと言って特別扱いをしてほしくない。」との声が挙がってきています。男女平等であることは当然ですし、今では現場にトイレ・更衣室を設置することは、当然のことであると思います。

百成 現状、建設業界では男女問わず働き手が少ないことや他業種に比べ、女性の働き手が少ないといった課題があります。女性だからといって特別扱いするといったことではなく、女性が建設業で働くことが当たり前となるような活動が必要ですね。

小崎様 雇用に対しても性別を問わないことが非常に大切かと思えます。また、ユニバーサルデザインに対応することも非常に重要であると考えています。

百成 今後、建設業の働き手が増加していくには何が重要だと考えますか？

小崎様 働き手確保のためには、「新3K」や「ICT技術」はPRし、多くの方に見てもらふことや仕事をしていく上での「給与」「やりがい」が大切だと考えています。だが、最も大切なことは仕事が好きであることです。これから建設業に従事する方に対しては、「仕事を好きになってもらうこと。」これが我々の仕事ですね。

百成 最後に協会様のこれからの展望をお聞かせください。

小崎様 まずは第一に市民の安心安全を守ることです。京都といえは1000年の都。街並みを保存しながら時代に合ったまちづくりを進めていく大きな使命を担っています。その誇りを持ち続けて、必ず働きたいという人がいると思っています。次の世代にも建設業をやりがいのある産業・業界として引き継いでいきたい所存です。

百成 本日はありがとうございました。

Vol.05 建設女子の 本音!

土木技術者女性の会
サポーター

株式会社アイサスは土木技術者女性の会サポーターとして、土木の仕事に携わる土木系女子を応援しています。今回は、京都府の建設業に従事されている谷口様と山本様の本音にせまります!



吉村建設工業
株式会社
谷口 徳恵様

工程を先回り
できた時の喜びが
やりがい!!!



リフレッシュ方法は、おいしい
居酒屋さんを見つけてお酒を
飲むことです!



私は、建設業で働き始めて3年目です。現在、京都市西京区総合庁舎新築工事で施工管理を担当しています。実は前職では、官公庁で入札関係の仕事をしていました。プロポーザル運営をする中で、たくさんパースや図面を見る機会があり、そのうち大きな建物に魅力を感じ、建てる側として建設業に携わりたいと思い現在の仕事に転職をしました。

現在のやりがいは、工程を先回りできた時です。そのために、繰り返し工程表・図面・現場を見ます。翌日に打合せがある際は事前情報を用意しておくことを心がけています。担当している現場では、翌日の事前準備として毎日行っている夕礼が白熱し、2時間が経過していることもあります。

数年前、建設業では女性の求人がなく、就職活動中に選択肢として考えることもできませんでした。今は、建設業で働く女性が増えてきています。ぜひ、女性の皆さんにも選択肢としてあることを知っていただきたいです。

これからは、子育てと仕事を両立するために試行錯誤しながら、建設業で活躍をしていきたいと思っています!

私は建設業で働き始めて24年目になります。土木・建築の現場管理を経て現在は、大阪ガスネットワーク株式会社様の外管工事の現場管理をしています。建設業で働きたいと思ったきっかけは、幼い頃、父が電気技術者として携わった現場を嬉しそうに話す様子を見て、孫の代まで残る大きい構造物を作る仕事に携わりたいと思ったからです。

この仕事は、竣工後、現場関係者と健闘を称えあえた時や地域住民の方から温かい言葉をかけて頂けた時などにやりがいを感じます。現場では、計画時の苦労や外仕事ならではの暑さ、寒さがあり大変ですが、大きい構造物が完成した時の喜び・達成感を味わうことができます。暑い時には、地域住民の方から「体調に気を付けてね!」と励まされることで暑さが一瞬吹き飛びます(笑)

また、自分が現場にいることで「明るい雰囲気になるね!」と言われるのはとても嬉しいです。これからも周囲に良い影響を与える存在でいたいと思います。

建設業で働くことは、人との助け合いや気遣いを大切にできる人へと成長すると思います!これから、建設業で働く仲間が増えることを期待しています。

孫の代まで
残る大きい構造物
を作りたい!!!

公成建設
株式会社
山本 麻実様



現場では、汗をかいても落ちにくい
ファンデーション「カネボウライブリー
スキン ウェア」を愛用しています!

アイサスより
一言コメント

お2人は、取材でお会いするのが初めてでしたが、楽しくお話しをして、取材終了後には連絡先の交換をしていました。今後もアイサスチャンネル発刊を通して、建設業で活躍されている人と人をつなげる架け橋となれるよう活動を続けて参ります。

講習会 レポート

石川県建設業協会、株式会社アイサス共催 「情報共有システム学習会」



金沢市立工業高校と小松工業高校にて「情報共有システム学習会」を開催しました。建設会社に就職予定の高校3年生が参加しました。学習会では、建設業のDX推進や情報共有システムの概要や、1人1台ノートパソコンを操作する情報共有システムの操作体験を行いました。操作では受注者役と発注者役に分かれて書類の作成や決裁といった書類のやりとりを体験をしました。

金沢市立工業高等学校 2月9日 / 市立工業高校にて開催 参加者 / 土木科3年生 23名 **先生と生徒にインタビュー!**



Q建設業を目指したきっかけ、これからの目標を教えてください!



土木科3年生

祖父母の家の近くの海によく遊びに行っていたこともあって小さい時から海が好きでした。将来は海に関わる仕事がしたいと思い調べていたら、建設業が出てきて興味を持ちました。

就職後は必要な資格をしっかりと取って、一日でも早く仕事を覚え人の役に立てる人間になりたいです。

Q生徒へのメッセージをお願いします!



金沢市立工業高校
土木科教諭

建設業は地域の人々の生活を支える分野なので、自分の仕事にやりがいや誇りを早く持つように頑張ってください。最初は分からないことや、辛いこともあると思います。“楽しい”と思えるのは“辛い”を知っているからで、部活動を頑張った人はそれを良く分かっているのではないかと思います。

まずは社会人として必要なことを身につけながら、自ら教えてもらう姿勢を大切に成長していきなさい。



土木科3年生

中学3年生の時に観たゼネコンのドラマの影響で故郷に橋を建てたいと思い建設業を目指しました。高校では専門的な技術を学ぶことができました。

これからは自分のビジョンをしっかりと持ち、それを達成できるよう頑張りたいです。

今の目標は自分の現場を持って橋を建てることです。

石川県立小松工業高等学校 2月27日 / 小松工業高校にて開催 参加者 / 建設科3年 18名 **先生と生徒にインタビュー!**



Q建設業を目指したきっかけ、これからの目標を教えてください!



建設科3年生

物を組み立てることに興味があり、建設業で働きたいと思いました。建設業には、工業系よりも女性の働く方もたくさんいると聞いたのも選んだ理由の一つです。

就職後の目標は、「建設ディレクター」という資格を取得することです。建設業は、残業が多いと聞いています。私が先頭に立ち、働き方改革に取り組んでいきたいと思っています。

Q生徒へのメッセージをお願いします!



小松工業高校
建設科教諭

職場では、良好な人間関係を築き上げていってほしいと思います。

仕事をしていく上で分からないことや、できないことがたくさんあるかと思いますが、その際は、先輩に元氣よく質問し、学生時代よりもさらに勉強に励み、頑張っていってほしいと思います。



建設科3年生

小学生のころからものづくりが好きでした。いとこの家で竹を割り、穴をあけて水鉄砲を作って遊んだりして、色んなものをつくりたいと思い工業高校の建設科に入りました。

社会人になったら最初は職人さんとのコミュニケーションをこまめにとって信頼関係を築いていきたいです。将来は一人前の現場監督になることが目標です。

最新の講習会情報はアイサスのホームページまたはFacebookから発信しています! **インタビューへのご協力ありがとうございました。**

WEBアンケート 受付中!

今後のよりよい商品づくりのため、株式会社アイサスでは皆様へWEBアンケートのご協力をお願いしております。たくさんのご意見・ご感想をお待ちしております!

最後までご覧いただき、ありがとうございます。
今回の「i-SUS CHANNEL」はいかがでしたか?

WEBアンケートはこちらから
WEBアンケートは随時受付中!

<https://www.i-sus.com/enquete/index.html>



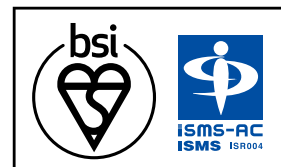
株式会社 **アイサス**

本社 / 東北支店 / 東京支店 / 中・四国支店

サポートTEL. **050-3174-1871**

平日(月~金曜日) ※祝日・年末年始を除く
9:00~12:00、13:00~17:30

2023年4月1日発行 発行: 株式会社アイサス 【本社】 〒920-0016 石川県金沢市諸江町中丁171-1 梅信ビル2階
内容に関するお問い合わせ: TEL. 076-208-3420 / E-mail koho@i-sus.com <https://www.i-sus.com/> [アイサスQ](#)



IS695200 / ISO 27001

